

問診表で病態整理整頓 ver.疼痛 <治療の手引き>

2026 年 6 月 28 日

日本中医鍼灸研究会 駒井知佳子

1. 主訴から、考えられる病態を列挙する。

- ① 急性腹症
- ② 脳出血・脳梗塞（発症直後・病院未受診）
- ③ 感染症（ヘルペス 等）
- ④ 内臓関連痛
- ⑤ 炎症
- ⑥ 外傷
- ⑦ 圧迫・牽引刺激による疼痛
- ⑧ その他

2. 1のうち緊急性のあるもの（主に①～⑥）を除外する。（鑑別）

3. 2以外のもの（主に⑦⑧）について精査する。（診察・病態把握）

4. 3の中で鍼灸治療適応外のものを除外する。

5. 評価項目を設定する。

6. 治療方針を立てる。

7. 治療する。

8. 評価する。

9. 今後の治療計画を立て、実施。